

神奈川県鎌倉市 モデル校の学校教室活用と放課後の活動充実支援

● 期間 2021年4月～現在

● 2021年度実績

● 支援開始の背景

神奈川県鎌倉市は全ての児童が放課後等の時間を安全・安心に過ごすことができ、多様な体験・活動を行うことができる事業としてアフタースクール(*)と学童保育を一体で行う「放課後かまくらっ子」を実施。平成30年度から事業を開始し、令和2年度をもって市内全小学校区で実施を完了している。現在は、放課後かまくらっ子全体の質の向上を目指す中で放課後NPOアフタースクールと協働。

*鎌倉市では放課後子ども教室を「アフタースクール」と呼称。

3月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市担当者の学校活用拠点(他自治体)現地視察	学校活用モデル校決定、現場訪問、関係者ヒアリング	環境設計に向けたビジョン検討、室内環境づくりの方向性検討ブレスト	保護者説明会・地元の設計士さんと環境設計相談	スタッフ全員ミーティング(ビジョン検討と目線合わせ)	市長報告、放課後推進部会報告、環境設計打ち合わせ	モデル校利用者ニーズ調査(アンケート実施)	環境設計に合わせた活動充実と広報面についての相談	地元の設計士さんと可動式家具デザイン打ち合わせ 子ども会議(放課後の学校教室の使い方アイデア出し)	学校教室の壁面アート制作ワークショップ、プログラミングツール体験会	企業連携プログラム開催	学校教室の看板づくりワークショップ

支援レポート

学校教室の活用に向けて

学校の教室等を日常的にお借りして放課後子供教室を実施している施設において、他施設よりも活動実施が難しい場面があります。学校生活の延長でなく、放課後のあそびスイッチが入る環境設計と放課後子供教室としてのさらなる活動充実に向けたモデルケースをつくっていくことを目指し、ヒアリング機会やワークショップ開催を現地スタッフと共に取り組んでいます。



自治体担当者の声/鎌倉市こどもみらい部青少年課/川村さん



本市では市立小学校の全16校区を対象として「放課後かまくらっ子」を実施しています。事業開始から4年目を迎え、今後さらに質の向上を図っていきななかでNPOアフタースクールの持つ様々な経験から提供されるプログラムや提案は我々にとって、非常に魅力的なものでした。協働を通じて、得た知見をさらに活かしていきたいと考えています。

放課後NPOアフタースクール 担当スタッフの声/プロジェクトマネージャー/栗林真由美



鎌倉市は、単なる全児童対策事業にとどまらず、市全体で放課後の質向上に本気で向き合うための体制、パワーがあることが何より素晴らしいと感じます。学校活用・活動充実ともに、一朝一夕の変化が難しい課題ですが、すでにある鎌倉市ならではのリソースや現場の皆さんの想いを大切に、ワクワクする放課後づくりを一緒にしています。